

女流棋士と対局

府中で親子将棋教室

東京新聞で子育て日記を連載する府中市の女流棋士、中倉彰子さん(四二)による親子将棋教室が十二日、地元の大國魂神社であった。写真。都内や神奈川県園児や児童と親の約九十組が中倉さんとの対局を楽しんだ。クイズで将棋の歴史



を学び、パズルで駒の動きを覚えた。子どもたちは名人戦でプロ棋士が使った盤駒を用い、中倉さんを相手に緊張した面持ちで一手を指した。

府中市の小学二年斎藤壮貴君(八)は「(中倉さんとの対局は)どう指していい

か分からなかったけど、楽しかった」。父親の参加も多く、中倉さんは「お父さんの育児参加が進めば」と期待した。京王電鉄が将棋ブームを受けて初めて企画した。(松村裕子)

東京新聞朝刊 / 8面多摩版